

県連速報

●発信元
宮城県生活協同組合連合会
●責任者 石川 宣子
●TEL 022-276-5162
●FAX 022-276-5160
●2026.2.9
第735号
(2025年度:24号)

●2月6日(金)、小林徳光宮城県副知事との懇談会を開催しました。

2月6日(金)江陽グランドホテル3階孔雀(くじやく)の間において、小林徳光宮城県副知事と宮城県生協連会員生協役職員23人との懇談会を開催しました。懇談をとおして、宮城県と県内の生協が連携を深めるとともに、地域課題と県民生活向上のための取り組みを考える場となりました。

はじめに、宮城県生協連の冬木勝仁会長理事、小林徳光宮城県副知事から挨拶がありました。

続いて、会員生協から活動紹介がありました。みやぎ生協の尾川輝敏専務理事からは「地産地消など消費者のくらしを守る取り組み・安心して暮らせる地域づくり」などについて、生協あいコーポみやぎの辻朗子理事からは「食品表示問題に関する活動報告」鈴木真奈美理事からは「産直豚の飼育に念願の国産資料を導入」について、松島医療生協の三浦久恵副理事長からは「コロナ禍あけての組合員活動交流集会」について、東北大学生協常務理事の村井瑛さんからは「共済強化月間と総代と実現する生活支援の取り組み」について、宮城大学生協太白キャンパス学生委員会委員長の菅原颶馬さんからは「学生委員会『リ・リパック回収活動』」について、宮城労済生協事業推進部長の加藤眞也さんからは「SDGs宣言、子どもの健全育成、防災・減災、環境保全の取り組み」についての報告がありました。

小林徳光宮城県副知事から、各生協からの取り組み紹介に対しての感想が述べされました。
「食の安全・安心と地産地消の推進、地域の見守りと福祉・医療サービスの提供、防災・減災、



小林徳光宮城県副知事を囲んでの集合写真



小林徳光宮城県副知事の挨拶



懇談会の様子

持続可能な社会と環境への取り組み、助け合い・共済の普及など、各生協が展開する多岐にわたる活動に対し、地域に寄り添った取り組みの積み重ねが、県民生活の安全・安心を支える大きな力となっている」と話されました。

「誰もが安心して暮らせる地域社会づくり」のために、生協が県行政と協力し役割を果たしていくことの大切さを認識する機会となりました。